

会 議 録

- 1 会議名
阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議
- 2 開催日時
平成30年2月13日（火） 午前10時00分～午前11時30分まで
- 3 開催場所
阿賀野市役所 別館303会議室
- 4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）
 - ・委員長 齋藤由春
 - ・委員 菅野真史 樋熊征夫 高橋高一 高橋正榮 小野里定男 加藤茂樹
蟻塚孝 鈴木正彦 増子信次
(12人中10人出席)
 - ・事務局 長川危機管理課長 辻地域安全係長 土橋主任
- 5 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 平成29年の阿賀野市犯罪発生状況とその検証について（公開）
 - (2) 平成29年阿賀野市防犯対策事業の取組み状況について（公開）
 - (3) 第4次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画（案）について（公開）
 - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由 なし
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 発言の内容

事務局：本日は、お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。

はじめに、本日の会議は「阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議運営要綱」第4条第2項の規定により公開とさせていただきます。

また、会議録を作成する必要があるため、ICレコーダーによる録音をさせていただきますので、ご了承くださるようお願い申し上げます。

それでは、これより「阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議」

を開会させていただきます。はじめに、長川危機管理課長がご挨拶申し上げます。長川課長よりよろしくお願いいたします。

長川課長：みなさま、おはようございます。本来ならば市長が会議に出席する予定でしたが、別な急務が入りまして欠席になりました。大変、申し訳ありません。代わって私がお挨拶申し上げます。本日、足元の悪いなかご出席いただきましてありがとうございます。第3次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画にもとづきまして、いろいろな施策を展開しながら市民の防犯意識の向上、子どもや高齢者をはじめとする市民の安全確保に取り組んできたところであります。しかしながら、刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、依然として万引きなどの窃盗犯等多くあり、空き巣、車上ねらい等を誘発します無施錠率は、全国や県と比べても高い状況が続いているところでございます。第3次計画期間が、この平成30年3月で終了するわけでございますけれども、本日は、この条例にもとづきまして、これまでの取組みの成果や課題をご報告申しあげ、皆様からの意見を聞きながら、4月からの第4次の計画を策定してまいりたいと思っております。今後のスケジュールといたしまして、今日の会議をもって正案を整理したいと思っておりますので、皆様の立場のなかで忌憚のないご意見をいただければと思います。本日は、よろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

つづきまして、齋藤委員長ごあいさつをお願いいたします。

委員長：皆さん、おはようございます。足元の悪いなか、お集まりいただきましてありがとうございます。雪もかなり降って除雪対応等も大変なことと思います。委員長ということで、これから、協議を進めるわけではありますが、協議事項がスムーズに進みますよう皆さまのご協力をお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

つづきまして、会議次第の4番協議事項ですが、齋藤委員長議事進行をお願いいたします。

委員長：それでは、協議事項に入ります。なお、質問はそれぞれの説明後に受け付けます。

はじめに「(1)平成29年の阿賀野市犯罪発生状況とその検証」について、阿賀野警察署生活安全課長より説明をお願いいたします。

警察：みなさん、おはようございます。阿賀野警察署生活安全課増子と申します。平成29年中の犯罪の発生状況について説明したいと思います。新潟県全体でみますと、刑法犯認知件数は、12,757件、前年比-1,392件。阿賀野署管内でみますと、刑法犯認知件数は、158件、前年比-8件ということで、ここ数年刑法犯認知件数としては右肩下がりで推移しておりますが、これが体感治安ということになりますと、まだまだ治安がいいなという感じは皆さん受けてられないというアンケートの調査結果がでております。刑法犯の内訳をみてみますと、阿賀野署管内、凶悪犯としての位置づけになっておりますが、京ヶ瀬地区における放火事件、強制性交事件の2件がありました。強制性交事件については、被疑者検挙済みです。暴行、傷害などの粗暴犯は、13件、前年比+1件。窃盗犯については、115件、前年比-3件となっております。地理的にみますと、発生件数が多いのが署所在地、(水原地区)が、全体の42%、次に多いのが安田地区になっています。窃盗の状況ですが、侵入盗は昨年と比べ横ばいで推移しておりますが、皆さんの身近なところで言うと、公民館、センター等の普段無人の場所のアルミサッシの盗難多発し、警察でも対策をとり、市役所でも安全安心メール等を活用し周知したものの、無人の場所のため犯罪発生日時が不明。盗難防止対策としては、使用しない時は、はずす等の対策が有効であります。おそらく限られた人間が、繰り返しているという予測ですが、春先だけかと思っていたら、秋口になっても被害が発生しています。畑に水おけ代わりにホーローの浴槽が置いてありますが、それを盗むというのが春先になるとでてきますので、十分気をつけていただきたいと思います。侵入盗の無施錠率(鍵をかけていなかったために被害に遭った割合)が、阿賀野市は高い状況です。空き巣で75%、夜間就寝中に泥棒に入られる忍び込みだと100%となっております。県内と比べても当署は高い数値となっておりますので、皆さまに啓発広報活動をお願いしたいと思います。特殊詐欺につきましては、今年はじめに、なんとしても特殊詐欺に歯止めをかけなければならないということで、県警本部のほうで民間企業を交えて大会議を設けました。平成28年は、いったん発生が減少したのですが、平成29年は盛り返すという情勢にあります。特殊詐欺は、犯罪発生のバロメーターのようになっておりますので、なんとしても食い止めたいと思っています。特殊詐欺の状況としては、阿賀野市は統計上5件96万円の被害が発生しています。内訳は、オレオレ詐欺が2件、架空請求が3件となっております。現在、市内でも「〇〇訴訟管理センター」等の名前を名乗ったハガキが届いたという相談が、毎日4~5件きています。警察にこれだけ連絡がきているということは、警察に届けず破棄しているような方は、その何十倍もいるということ。「有料サイトの閲覧料金が未納」というようなハガキやメールが届き、そこに記載の電話番号に電話をして、言

葉巧みに「払わないと訴訟になる。」「会社をクビになる。」等言われ、コンビニへ行って、ギフトカードを購入させ、番号を聞き出して電子マネーをだまし取る手口が全国的に多く発生しています。オレオレ詐欺は、70代80代の方が中心でしたが、架空請求詐欺は、40代50代の働き盛りの方が、会社の自分の立場を考え即座に支払ってしまうという傾向が見受けられますので、この年代の方に呼びかけることが有効だと考えますので、今年もこの対策を考えなければいけないと思っています。

少年事件については、平成28年は二人だったのですが、平成29年は前年比プラス11人と人数的には増加しました。しかしながら、とあるグループを検挙して騒ぎを起こさなくなったので、効果があったと思います。いじめ事案も捉えておりますが、検挙して取り調べを行った結果、通常の学校生活を送れるようになったということで、解決できたのかなと思っています。数字だけ見れば増えてはいますが、ある特定の者が騒ぎを起こしたという点で件数が伸びたということであります。小・中学校、阿賀野高校も含め、凶悪な事件を起こすというような情勢は、今のところ見られません。市内の犯罪情勢は、以上です。

犯罪ではありませんが、平成30年に入りまして交通死亡事故が、すでに12件。前年比プラス8件となっております。大雪が降ると大きな事故は起きないというのが、警察側の体感なのですが、この冬は大雪にも関わらず交通死亡事故が多発していますので、皆さんからも地域の方になるべく夜間歩みを控える、道路状況をふまえた運転をするようにお声掛けいただければと思います。

私の方からは、以上です。

委員長：ありがとうございました。今ほどの説明について、何か質問はございませんでしょうか。

D 委員：今ほどの説明の中で、畑においてある浴槽とありましたが、もう一度説明をお願いしたい。

警察：水おけ代わりに、使わなくなったホーローの浴槽が盗まれてしまう事案が発生しております。浴槽に限らず、畑作業で使う道具等も片付けるようにしていただきたいと思っています。

委員長：他にございませんでしょうか。ないようでしたら、次の事項へ進めさせていただきます。それでは、続いて「(2)平成29年度阿賀野市防犯対策事業の取組状況」について、事務局説明をお願いします。

事務局：本日、配布いたしました資料「平成29年度阿賀野市防犯対策事業の取組状況」をご覧ください。

5月を「阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進月間」と市独自で定めまして、各種防犯啓発活動を展開してきました。1. 阿賀野市公用車防犯パトロール活動強化ということで、市が所有しています青色回転灯装備公用車による児童の下校時を中心とした防犯パトロールを実施しました。2. あいさつ運動の推進ということで、学校教育課を通して市内8小学校4中学校と連携をして実施しました。3. JR各駅、安田インター高速バス停での防犯PRということで、5月17日JR水原・京ヶ瀬、5月18日JR神山・安田インター高速バス停において、朝7時～8時まで通勤、通学の方を対象に啓発を行いました。若い年代に啓発できる貴重な機会となりました。4. 自転車盗難防止防犯診断並びに市内放置自転車一掃事業ということで、JR、安田インターでの啓発活動終了後、駐輪所に駐車してある自転車を1台1台確認いたしました。確認事項としては、施錠状況と防犯登録の有無をチェックして、啓発札を取付けました。また、長期間放置してあると思われる自転車に引取り依頼の札を取付け、約3週間後に確認をしそのまま放置してある自転車については、市で回収しました。そして、警察に所有者の照会をし所有者が判明したものについては、引取りのお願いをさせていただきました。平成28年度と比べると、若干ですが放置自転車数は増加傾向にありました。5. 車上狙い防止等防犯宣伝の実施についてですが、各地区に分かれまして、笹神地区は5月3日五頭連邦山開きにあわせて、車上狙い防犯診断ということで駐車場にある車輛489台の施錠確認及び貴重品管理状況等を実施しました。489台のうち、無施錠が19台、貴重品が放置されているよう見受けられる車輛が14台ありました。安田地区5月19日、水原地区5月23日、京ヶ瀬地区5月24日に、各地区スーパー等で啓発活動を実施しました。

6. 防犯診断及び防犯世帯訪問の開催ということで、自治会さんからご協力いただきまして、1世帯づつ訪問し注意喚起及び住宅や車輛の施錠診断等を行いました。今回、天朝通り自治会（水原地区）、法柳・五郎巻・嘉瀬島自治会（京ヶ瀬）、六野瀬自治会（安田地区）、女堂自治会（笹神地区）にて実施しました。7. 防犯広報活動ですが、運動期間中懸垂幕の設置、49号線沿いや公共施設周辺にのぼり旗を設置いたしました。また、この期間、市職員による啓発活動及び街頭指導ということで、小学生の下校時間にあわせてパトロールを実施いたしました。

「全国地域安全運動・県防犯推進旬間」ということで、秋の運動報告になります。1. 阿賀野市防犯パトロール出発式並びにパトロール活動強化です。10月11日（水）市役所正面玄関前において、パトロール出発式を実施い

たしました。阿賀野市建設業協会並びに市で所有している青色回転灯装備車、阿賀野警察署のパトカー併せて6台で市内各地のパトロールを実施いたしました。2. あいさつ運動につきましては、春同様の取組みですので省略させていただきます。3. 新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民大会では、防犯協会副会長、代表理事の皆さんから参加いただきました。防犯功労者表彰ということで、防犯協会副会長の高橋高一さん、中部地区防犯の会大澤まり子さんが受賞されました。4. JR水原・京ヶ瀬・神山・安田インター高速バス停防犯PR、5. 放置自転車対策、6. 車上狙い・特殊詐欺被害防止防犯宣伝の実施について、7. 防犯診断及び防犯世帯訪問の開催、8. 阿賀野市防犯情報の発信、9. 防犯広報活動については、春同様の取組みですので省略させていただきます。つづいて、通話録音装置普及事業です。65歳以上の方を対象に、悪質商法、特殊詐欺被害防止のため貸出しを行いました。現在19名の方に貸与しております。まだ、12台在庫がありますので、ぜひ皆さまのまわりで興味がある方がいらっしゃいましたらご紹介いただきたいと思います。以上、平成29年度の取組み状況の説明を終了させていただきます。

委員長：ありがとうございました。ただ今の説明について、何か質問はございませんでしょうか。

C 委員：五頭連邦山開きに合わせて、約500台近くの車輛の施錠診断をしておりますが、施錠確認は目視ですか？

事務局：はい。目視で見える範囲で診断をしました。

A 委員：通話録音装置についてですが、非常にいいなあと思っております、特殊詐欺被害の抑止になると思うのですが、市民の皆様にはどのような方法で広く告知をされているのかをお聞きしたいのと、そんな高価なものでないのであれば台数を増やして、広く告知をして、それに対応できるように拡充してもいいのではないのでしょうか。

事務局：告知については、広報あがのに掲載、自治会を通しての回覧、阿賀野市のホームページにも掲載しています。

A 委員：1台、いくらぐらいするものですか？

事務局：2年ほど前で、1台1万円くらいでした。

A 委員：車でラジオなんか聞いていると、新潟市でもこのようなことをやっていて、当市でも効果的なPRができるといいなあと思います。

事務局：みなさんに、広く知ってもらえるような周知方法を考えていきたいと思えます。

F 委員：装置自体は、アナウンスが流れるものですよね？

事務局：そうです。家の呼び出し音が鳴る前に、外部から電話がくると「この電話は特殊詐欺被害防止のため、通話内容が録音されます。」といったアナウンスが流れてから家の呼び出し音が鳴るので、セールスや特殊詐欺の前兆電話等、声を残したくない人はアナウンスを聞いて電話を切るのです。家の方は電話がきていることもわからないんですね。ですから、使用している方は、そのような不審な電話は非常に減ったとおっしゃいます。

A 委員：現在65歳以上の方に貸出しを行っていますが、両親共働きで子どもさんだけが留守番している時間もあるので、お話を聞くととてもいいなあと思うので空きがあるのであれば、年齢も検討していただければと思います。

事務局：年齢についても検討していきたいと思えます。

当初、33台入れたのですが、なかには知人が電話してきてもアナウンスが流れたりしていい思いをしないというような意見があったり、私どものPR不足もあると思えますが、思ったより反応がなかったのが正直なところです。警察の方でも、モニター制度をやっているとの話を聞きましたが、いかがでしょうか？

警察：阿賀野署で2台配布になっておりますが、PRはするもののそれでも余っている状態です。県警本部の方で、パナソニックと提携して同じような録音装置のPRもしているのですが、実際数は伸びていないような話を聞いています。

委員長：あと、何かございますでしょうか。

H 委員：家の電話に以前いただいたステッカーを貼っているのですが、視覚的に訴えるものがすごく有効だなと思っていることと、何年か前に聞いた話でうる覚えなのですが、企業と提携をして白黒の車にステッカーを貼って普通に仕事まわりをしてもらうと、ある地域の犯罪がすごく減ったということ聞いた

ことがあるので、ながらパトロールも大変有効だと思います。

事務局：市の方でも、電話に貼るステッカーを作り防犯世帯訪問の際に配布をしたりしています。

H 委員：電話をとるすぐそこに貼ってあって、目に入るといいですよね。

事務局：先ほど、特殊詐欺の犯罪件数が昨年減少傾向で、今年に入り増加しているというお話でしたが、全国的な傾向なのでしょうか？

警察：全国的ですね。一旦28年で減少したのですが、29年で増加したのは全国的な傾向です。こちらの防犯活動に反するものでサイクルを変えてやってくるというような状況です。

委員長：その他、質問等ございませんでしょうか。ないようですので、それでは続いて「(3)第4次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画(案)」について事務局から説明をお願いします。

事務局：事前にお配りさせていただいておりました「第4次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画(案)」と、本日お配りしました「第4次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画(案)概要版」を、併せてご覧ください。

計画策定の趣旨といたしましては、平成19年12月に制定・施行された「阿賀野市犯罪のない安全で安心な推進条例」に基づき、市や市民等の防犯上果たすべき責務や役割分担等を明らかにし、市が施策を総合的かつ計画的に展開するための行動計画です。市民の防犯意識の向上や子どもや高齢者をはじめとする市民の安全確保などに取り組んできましたが、第3次計画期間が終了することから、犯罪情勢や社会情勢の変化、これまでの取り組みの成果や課題などを踏まえ、新たに計画を策定するものです。

計画の構成ですが、第1章推進計画の基本的事項ということで、第1節今ほど説明いたしました計画策定の趣旨がありまして、第2節計画の位置づけといたしまして、

1. 総合的に講ずるべき「犯罪のない安全で安心なまちづくり」の推進に関する施策の大綱
2. 施策を計画的に実施するために必要な目標設定
3. 施策を計画的に実施するために必要事項

なお、市の総合計画、県の推進計画等との整合性を図ったうえで策定します。第3節市民意見等の反映ということで、本日委員の皆さんの意見をお聞きす

るとともに、2月22日～3月23日までパブリックコメントによる市民の皆様の意見を参考に策定します。

第4節計画の期間は、平成30年度から3年間とします。ただし、計画期間の途中であっても社会情勢の変化等によっては適宜見直しを行います。

第2章 第3次計画の成果と課題（計画（案）の2ページから）

1節 阿賀野市の犯罪の現状

概要版の真ん中に「阿賀野市における犯罪発生状況」の過去10年のグラフを載せてあります。グラフを見てわかるように、平成27年には200件をきり年々減少傾向にあります。窃盗犯いわゆる泥棒被害が約7割を占めており、当市の犯罪の大半は窃盗犯であることがわかります。その他詳しくは、計画（案）のP2～P8にあります。平成29年地区別発生状況では、水原地区が全体の約半分を占めており、その後多い順にいくと安田地区39件、笹神地区27件、京ヶ瀬地区21件となっています。特徴的なところでいうと、P7の8.阿賀野市における施錠の状況ということで過去2年間の施錠率を載せてあります。当市は、鍵をかけていなかったため被害に遭った割合「無施錠率」が全国・県と比較しても高くなっています。その下9.振り込め詐欺等特殊詐欺の発生状況については、平成27年発生件数9件、被害総額3,551万円と多発しましたが、平成29年は、5件96万円と過去4年のうち被害額は最少でした。被害者年代別でいいますと、平成29年は、5名のうち3名が40代と若い世代でも被害にあっています。

2節 第3次計画の目標達成状況

・「犯罪発生件数を減少させる」は、目標値200件に対し平成29年は158件と目標を達成しました。犯罪被害の防止のためには、市民の防犯意識の向上、地域の目による犯罪被害の防止、防犯に考慮した環境づくりなど総合的な取り組みを今後とも継続していくことが、必要だと考えています。

・「街頭犯罪の無施錠率を減少させる」は、目標値52.8%に対し、平成29年は78.3%で目標を達成できませんでした。鍵かけは簡単に出来て効果的な犯罪対策であり、それぞれ自分で行うしかありません。鍵かけ等の啓発を今後も推進していく必要があると考えています。

・「不審者出没事案を減少させる」は、目標値0件に対し、平成29年は5件で目標を達成できませんでした。声掛け事案や不審者情報を安全安心メール等で迅速に情報伝達し、地域での監視の目で犯罪者から子ども等を守る体制や、不審者が出没しにくい環境づくりを進めていきたいと思えます。

・「自主防犯団体数を増加させる」は、目標値50団体に対し、平成29年は34団体で新規の自主防犯団体が伸び悩んでいる状況です。新規に立ち上げた

団体もありますが、少子化や団体構成員の高齢化、小学校の合併等の要因で解散した団体もあります。

・「自主防犯活動延べ従事者数を増加させる」は、目標値 8,500 人に対し、平成 29 年は 7,930 人でした。自主防犯団体活動などで多くの人が地域パトロールに取り組んでいますが、自主防犯活動従事者数としては減少しており、目標達成には至りませんでした。

・「安全安心メール登録数を増加させる」は、目標値 2,800 件に対し、平成 29 年は 3,100 件で目標達成しました。引き続き登録を促すよう広報等の取り組みを強化していきたいと思えます。

第 3 次計画の状況をふまえて、当市のこれからの課題といたしましては、概要版の一番下に記載してありますが、

・核家族化の進展、高齢者の単身世帯の増加など生活様式の多様化等により地域の人間関係が薄れ、犯罪の発生しやすい環境を生み出していると考えられるので、地域の連帯感を強め地域での見守活動が促進するよう支援していく。

・犯罪の大半を占める窃盗犯は、自転車の鍵かけや自宅の戸締りなどのちょっとした対策で防げる可能性が高いため、市民一人ひとりが「自らの安全は自らが守る」という自主防犯意識を醸成するための啓発を強化する。

・特殊詐欺被害の若年化が懸念されるため、幅広い年代に対しての注意喚起を実施する。

以上になります。今後の施策の体系ですが、第 3 次計画を継承しつつ安全で安心なまちづくりを推進していきますが、基本方針といたしましては、

- ・犯罪のない安全で安心なまちづくりに向けた意識づくり
- ・犯罪のない安全で安心なまちづくりに向けた地域づくり
- ・犯罪のない安全で安心なまちづくりに向けた環境づくり
- ・犯罪のない安全で安心なまちづくりに向けた推進体制づくり

の 4 項目を柱として各施策を展開していきたいと思っております。

第 4 次計画の目標ですが、14 ページをご覧ください。

1. 「市内の犯罪発生件数を減少させる」 29 年中の刑法犯発生件数 1 5 8 件に対し目標値 1 3 0 件。
2. 「街頭犯罪の無施錠率を減少させる」 29 年中の無施錠率 7 8. 3 % に対し目標値は 2 8 年全国平均数値 5 2. 1 %。
3. 「不審者出没事案を減少させる」 29 年中の不審者出没事情報件数 5 件に対し目標値 0 件。
4. 「自主防犯団体数を増加させる」 29 年末の自主防犯団体数 3 4 団体に対し目標値 4 1 団体。

5. 「自主防犯団体活動延べ従事者数を増加させる」 29年末の自主防犯活動延べ従事者数7,930人に対し、目標値13,000人。多い印象をうけられるかもしれませんが、今ある団体の活動の活性化プラス新規団体の設立ということで、この目標を設定しました。
6. 「安全安心メール登録件数を増加させる」 29年末の安全安心メール登録件数3,100件に対し、目標値4,000件。
施策の展開といたしましては、先ほどご説明いたしました4本の柱をもとに、課題にむけて市民、学校、事業所、行政、警察、地域と連携をして情報共有を図り、犯罪のない安全で安心なまちづくりに努めていきたいと思っております。計画の説明は以上になります。

委員長：ありがとうございました。ただ今の説明について、何か質問はございませんでしょうか。

D 委員：14ページの目標値について、市内の犯罪発生件数を減少させるのですが、目標値が130件となっていますが、どなたかから指導を受けたのですか。

事務局：目標値の考え方としては、年間10件減少させるということで事務局で協議して決定しました。

D 委員：犯罪というのは、0なら一番望ましいわけですので未達成でも高い方がいいのではないのでしょうか。

警察：犯罪は、もちろん0が望ましいのですが、現実的には不可能というところでして、人がいれば犯罪が起きるといえるのはいたしかたないところですので、それでもここまで減らしてきて、統計上からみても妥当な数値だと思います。

D 委員：わかりました。

B 委員：無施錠率とありますが、我々が調査している数値でしょうか。

事務局：私どもがやっている防犯診断の結果ではなく、警察の方で公表している数値になります。

警察：泥棒被害があった時に、鍵をかけていたか、かけていなかったか等

状況を確認しますが、その際の無施錠だった割合になります。

委員長：他に何かございませんでしょうか。

警察：不法投棄も多いのですが、野焼きも非常に多いです。特徴として80代以上の方。30年ほど前に法律が制定されたのですが、昔は普通に燃やしていたので罪の意識がない。警察としては、検挙となってしまう、何十万円もの罰金を払わなければならなくなってしまう。普段は善良な人が犯罪者になってしまうというのが、野焼きなので、野焼きはいけないということもぜひ周知していただければと思います。

C 委員：自分の敷地内で燃やすのもダメなんですか。

警察：はい。敷地は関係なくダメですね。不法投棄も、自分の土地であってもダメで場所は関係ないです。環境の問題なので、有害物質は辺り一面にまき散らされてしまうので。

事務局：野焼きも計画に追記したいと思います。

委員長：他に何かございませんでしょうか。

F 委員：防犯カメラを事業所で24台設置しているとありますが、今後、市の費用で防犯カメラを設置するというようなお考えはあるのでしょうか。

事務局：いろんなご意見をいただいておりますが、防犯カメラを設置したあとの維持管理の問題があって、なかなか難しいのが現状です。県内の状況を調べてみたのですが、自治会や商店街等で設置をして、そこに市が補助していくというところが多いようです。本市としても、そのような形の助成というのは考えていかなければならないのかなと思っています。

委員長：その他、何かございませんでしょうか。続いて「(4) その他」について皆さまの方から何かございませんでしょうか。

F 委員：平成29年4月に自主防犯団体等活動推進費補助金が、あがの市民

活動補助金と統合したとありますが、具体的に教えて下さい。

事務局：今までの自主防犯団体等活動推進費補助金は、設立の時1回のみ上限5万円でしたが、あがの市民活動補助金は、新規プラス継続にも支援していきますよということで、新規上限10万円、継続上限5万円、1団体3回まで交付ができるようになりましたので、ぜひ活用していただければと思います。

委員長：その他、何かございませんでしょうか。ないようであれば、これで全ての協議を終了します。ありがとうございました。

【閉 会】

以 上

9 問い合わせ先

危機管理課地域安全係

TEL : 0250-62-2510 (内線 2232)

E - mail : kikikanri@city.agano.niigata.jp